

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		こぶし事業所		第三者評価受審年度	4年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (4年度)	改善計画 (4年度末時点)	実施状況 (5年度末時点)	実施状況 (6年度末時点)	
ヒヤリハット報告を活用し、事故防止対策を充実するについて	事故報告を中心に、事故防止対策を主任会議で論議していたためにヒヤリハットに着目して報告の活用があまりなかった。	職場報告についても主任会議で論議した。 ヒヤリハット報告書を各職場に配布し、小さな気づきでも、全体のものにして、事故防止に役立てるように意思統一をした。	ヒヤリハットと小さな事故も、その班だけの問題とせず、全体の課題となるように報告書に記載し、主任会議で報告している。 その積み重ねの中で、他の班の出来事も自分のこととして受け止め、改善しようとする意識が出てきている。	ヒヤリハットと小さな事故も、その班だけの問題とせず、全体の課題となるように報告書に記載し、主任会議で報告している。 その積み重ねの中で、報告することが定着してきている。そのことにより改善しようとする意識が出てきている。	
広報活動を積極的に行うことで、さらなる事業所の情報提供を広げるについて	現在は「障害者事業所の概要」とNPO法人に配布している「会員通信」での広報活動になっている。 不特定多数を対象にした、読みやすいPR紙の活用が求められている。	参考資料とするため、各事業所のパンフレットを集めている。「こぶし事業所」としての有効な広報活動の検討を始めた。1年を目処に新しいパンフレットを作成するとともに有効な広報活動をみんなで論議して見つけていく。	引き続き他事業所の資料は集めているが、具体的な検討には至らなかった。 新年度には、パンフレット作成に着手したい。	事業所の資料は昨年で終わり、今年度は、パンフレット作成し終わり、最後の調整に入っている。	
マニュアルを集約・整備して業務の効率化と仕事の手順を明確にしていくについて	仕事のマニュアルや手順は、職場ごとになっており、職場を異動した時には使えない現状。	まず、職場ごとに仕事のマニュアルと手順を整備する。 整備が終わった段階で共通の仕事はできるだけマニュアルを統一するように作成したい。	各施設の代表が集まって共通部分についての施設清掃のマニュアルは作成した。今後精査すべきものは進める中で改善したい。 公園清掃のマニュアルも作成した。実行の中で精査をしていくこととしている。	各施設の代表が集まって共通部分についての施設清掃のマニュアルは作成した。今後精査すべきものは進める中で改善したい。 公園清掃のマニュアルも作成した。実行の中で精査をしていくこととしている。	

※この様式は、「練馬区障害者日中活動系サービス推進事業運営費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。